

NEXUS Vol.181

2014年7月18日

Vol. 181

編集・発行:福岡大学附属大濠高等学校新聞部
福岡市中央区六本松1-12-1
印刷:株式会社ハザマ印刷

展望台

生まれて6169日が経過したらしい。母のお腹の中にいたころも含めれば6440日くらいは平気で過ぎているだろう。生まれたての頃は子猫と大して変わらないくらいの小ささだった自分が、今はその猫を抱きあげているというのは大変不思議であるし、猫の方も納得できないに違いない。片や二足歩行をする人間、片や四足歩行をするしぶの生えた猫の私たちだが、同じ人間に育てられ、可愛がられ「ホモ・サピエンス」と「猫」という違いはあるものの「家族」の一員として認められている▼子供が幼いころから両親が共働きの家庭は日本において珍しくもない。高校生にものれば家族が全員揃つて食卓を開むことも少なくなる。家族揃つの長期間休暇もなかなかないし、課題やテスト勉強に追われる日々。たまに顔を合わせれば衝突が起り鬱陶くなる。わざわざ家に帰る必要を

感じられなくなっていた。何を基準に「家族」と「家族でない人」を決めているのだろうか。同じ遺伝子を持っているか否かという、極めて単純なラインで区切り「家族」に当たる人と一つの集団になつて生活をするということは、少し窮屈な気氛もする▼DNA鑑定という言葉が一時話題になった。今まで同じ時間と共に過ごしてきた息子娘と本当に血が繋がっているかどうかを確認しなければならない状況がごく稀に生じることがあるようだ。仮に「あなたの息子にはあなたの血が一滴も流れていません」なんて結果が出た時に、そのまま「家族」を続けるか、他人になつてしまふかは、それまでに築いてきたものが関係するのではないかだろうか▼ファイクションの世界では度々、何かしらの理由で登場人物が今まで家族だと信じていた人たちが「本当の家族」ではないことを知る、というストーリーに出会う。昨年のカンヌ国際映画祭で審査員

員特別賞を授賞した「そして父になれる」では病院で息子を取り違えられた2つの家族が息子を交換するか葛藤する様子が描かれている。生物学的な血の繋がりはなくとも、誰もが理想とするようなあなたたかが「家族」がスクリーンに映し出された。彼らの「心」は繋がっていた。一方、スクリーンを見つめる私たちとは、大切な人達と「心」を通わせているのだろうか▼心の繋がりとはなかなか実感できなくて、見落としやすいものである。自分が親の立場になって初めて両親の事を理解するるとはよく言うが本当にそうなのだろうか。気づこうと思えば気づけるものを、無視してしまっているだけではないか。「大人には高校生のことなんて分からぬ」と決めつけ、危険から守ろうとしてくれる優しい手を拒んでしまってはいないか。あなたたちはあなたの「ただいま」を待っていない。家族がいることを、まだ知らない。

2面	報道 バスケ・剣道・自転車
3面	報道 柔道・山岳・駅伝・陸上・卓球・水泳
4面	報道 吹奏楽・バドミントン・囲碁・かるた
5面	報道 写真・放送・部説
6・7面	校内記事 夏の大濠制服事情
8・9面	OB特集 座談会
10・11面	エネルギー特集 原子力発電の未来
12・13面	特集 特攻隊「真実のゼロ」
14面	特集 福岡の祭り「山笠」
15面	大濠生特集 歴史文化部・書道部
16面	体育祭反省・文化祭

新緑が美しい光明禅寺（太宰府市）

6月15日、福岡国際センターで県マーチングコンテストが行われ、吹奏楽部が3位で金賞を受賞し、九州大会への出場が決定した。この結果について、部長の大福駿君(3年)は「ライバル校に勝つことができ、とてもよい結果となつた。九州大会に行けることに誇りを持ち、金賞を獲りたい。観客を楽しませるようなマーチングができるよう、練習に励む」と意気込んだ。

森弓道場で全国高校総体弓道県予選大会が行われた。この大会で弓道部は、男子団体予選を首位タイで通過し、決勝リーグで4勝1敗の準優勝を收め、九州大会への出場を決めた。

出場した峯侃汰君(3年)は「決勝リーグに首位で進み、4試合目まで順調に勝てたことは良かった。しかし5試合目で油断し、負けてしまった。九州大会までに、もっと精神面を鍛え、優勝したい」と語った。

また、今年の3年生が1期生である女子団体戦でも予選を首位タイで通過し、決

5月24日、25日に博多の森弓道場で全国高校総体弓道県予選大会が行われた。この大会で弓道部は、男子団体予選を首位タイで通過し、決勝リーグで4勝1敗の準優勝を收め、九州大会への出場を決めた。

出場した峯侃汰君(3年)は「決勝リーグに首位で進み、4試合目まで順調に勝てたことは良かった。しかし5試合目で油断し、負けてしまった。九州大会までに、もっと精神面を鍛え、優勝したい」と語った。

また、今年の3年生が1期生である女子団体戦でも予選を首位タイで通過し、決

勝リーグでは2勝3敗で4位入賞を果たした。

出場した兼尾ゆうみさん(3年)は「団体戦の経験が少ない中で、4位入賞てきて満足している。自分たちが入部したときには女子の先輩がいなかったので、男子と一緒に練習をしていた。技術面は問題なつたが、2年生になり、女子部員の指導には苦労した」と女子1期生の苦労を振り返る。

コーチの平田先生は「弓道は試合と練習で結果が大きく変わる競技。今回は男女ともに練習の成果を十分に発揮できたと思う。九州大会に向け、精神面を鍛えていきたい」と語った。(峯)

吹奏楽

マークティング県大会で金賞



体育祭でも披露した

弓道

男子準優勝、女子4位

かるた

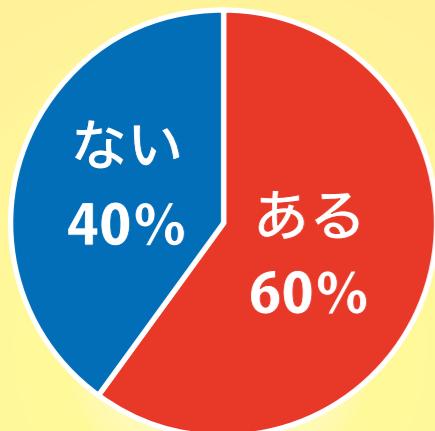
県準優勝躍進

『運動会』で、他校にはない面白みのあるマークティングは、通用するのか不安だったが、3位という結果として受け入れてもらえた。生徒には演奏を今まで以上にがんばってほしい。樂器の扱いに慣れている3年生、経験者を中心に部員を率いて、全員で隆敏暢君(2年)が3位、团体では4位を獲得した。今回の結果について隆君は「個人では全国大会へ行ける順位に入らなければ意味がないと思っている。团体戦では一人一人の国大会出場を目指したい」と意気込んだ。(川)

多くの時間で過ごす私たちは、クーラーによる問題が発生している。それは座席の位置による体感温度の差だ。実際の温度差を調べるために、クーラーの効いた教室で実験を行った。また、投書箱に女子の夏服に関する投書があつた。そこで、高校女子生徒にアンケートを実施し、女子の夏服について生徒課の坂口先生、生徒指導の中島先生に話を聞いた。

(大久保、大山、竹添、テノ、山之上)

女子の夏服の機能面について改善すべき点はあると思いますか?



～多かった意見に対する回答～

Q.夏服のスカートが透けるのですが…
A.今後検討していくつもりです。

Q.サマーカーデイガンは制服ですか?
A.サマーカーデイガンは学校指定のものではありますが、制服として認められてはいません。
寒いときのみ着用を認めます。

制服への不満 過半数

「サマーカーデイガンは制服ではない」

先日、投書箱の中に「女子の制服が暑いので、リボンを外してよいなどの対処をしてほしい」という生徒からの投書があった。

この投書を受け、高校女子を対象に現在着用している夏服についてアンケートを取りました。「夏服の機能面について、改善すべき点はあると思いますか?」という質問をしたところ、「ある」と答えた人が226人(60%)、「ない」と答えた人が152人(40%)という結果から、過半数の女子が夏服に不満を持つている事がわかる。

「はい」と答えた生徒に改善すべき点を尋ねたところ、「靴下が長いので暑い」が45人、「夏場はリボンが暑苦しく、首元が苦しい」が31人であった。サマーカーデイガン着用範囲を拡大を希望する背景には「学校指定で買ったのに制服として認められないのはおかしい」「通学時に使用する車内は寒い」などがある。靴

下に関しては「夏は体育の授業時に使用している白ソックス(男子と同じもの)を認めてほしい」との記入がいくつか見られた。

また「スカートが透ける」「汗をかくと白でも下着が透けることがある」など、エアコンだけはどうしようもない夏の事情もある。

さらに「夏服の規定や校則について不明な点があればお書き下さい」という項目に複数の生徒が夏服の上にベストを着ても良いのかと回答するなど、現在の女子の夏服に関する校則の認識は曖昧になっているのがわかる。校則では移行期間中であれば、夏用の半袖シャツの上からベストを着用する

ことは認められているが、実際に着ている生徒はほとんどいない。「現行のベストでは動きにくいので、カーデイガン素材のベストを作ってほしい」という声もあった。

女子の制服について、生徒課の坂口先生と生徒指導の中島先生に話を聞いた。

「サマーカーデイガン、冬服から夏服への移行期

間中にサマーカーデイガンに

関する規制の変更があつた。登下校中の着用ができるようになつたというものがわかる。校則では、移行期間中だけ登下校中の着用は着用するのに届け出が必要となる。

「サマーカーデイガンの本

来の規定では、クーラーで

寒いときのみ着用可となっ

ている。しかし、今までこの

規定を厳密に守つてこなかつた。暑い中汗をかきながら

要となる。

この投書に対して体育専門副委員長の阿部馨介君は「今年の体育祭は用具の準備や、時間の問題もあり、クラブオブ・パレード及び

着用しているのはおかしいと思ふ。戻そうとしたが、急に

本來の規定に沿わせると生徒も困惑する。よつて、移行期間中だけ登下校中の着用を許可した」

と答えた。

「その他女子の夏服」

「高校に女子が入学して3年目という節目を迎えると同時に、制服に関する様々な改善すべき点が見えてきた。これを受け、現時点での

規制に對する検討を委託された。現在は靴下やリボンなど、金錢面の問題も踏まえながら、女子の制服をトータルに見直している」

日指す終着点

本格的な夏が近づき、過ごしにくい日が続く。そんな中、多くの時間を教室で過ごす私たちは、クーラーによる問題が発生している。それは座席の位置による体感温度の差だ。実際の温度差を調べるために、クーラーの効いた教室で実験を行つた。また、投書箱に女子の夏服に関する投書があつた。そこで、高校女子生徒にアンケートを実施し、女子の夏服について生徒課の坂口先生、生徒指導の中島先生に話を聞いた。

夏未だれり

7月。眩しい太陽が激しく照りつける夏が来た。先月(6月)の平均最高気温は26℃に達し、最も暑かつた日には最高気温が30℃を超えた。教室では暑さに耐えきれず下敷きで扇ぐ人がいたり、制汗剤の香りで充満してたりする。

夏が近づくとこの大濠高校ではクーラーが作動し始め、快適な空間で学業に励む事ができる。しかし、教室内部での座席の位置が違うと体感温度に差が出るという問題が発生しているようだ。生徒たちはこの難点をどのように克服しているのだろう。

できる。しかし、教室内部での座席の位置が違うと体感温度に差が出るという問題が発生しているようだ。生徒たちはこの難点をどのように克服しているのだろう。

クーラーから離れた席に座っている生徒からは「暑い」という意見が多く聞かれた。その中でも、窓側に座っている生徒からは「窓を開けていたら涼しい風が吹いてくれるが、窓を閉めるとクーラーの風が届かないで暑い」という声を行つた。

クーラー、制服：山積みの問題

日常的に同じ教室内で活動をしている生徒たちに教室の環境についてインタビューを行つた。

一方、クーラーの真下に座っている生徒からは「クーラーが効くまでは暑い。しかし、クーラーが効いてくると風が直接あたつて寒い」とい

ういう意見があった。

一方、クーラーの真下に座っている生徒からは「クーラーが効くまでは暑い。しかし、クーラーが効いてくると風が直接あたつて寒い」とい

う意見が寄せられた。個人で行つてある対策を尋ねたところ、やはり座席の位置が違っていることも事実だ。クーラーが原因で、勉強に集中することが出来なければ元も子もない。

これらの意見から考へると、やはり座席の位置が違うと教室の温度の感じ方に差がある。そして、寒さに耐えるしかないという。

カーデイガンの着用、男子の場合は長袖シャツやジャージを着用するか、ひたすら耐えるしかないという。

温度差4℃

実際に教室内の風の流れと室内の温度を測定した。夏場はクーラーを効かせるためにあまり窓を開けないで、窓を閉めた状態での測定となつた。教室の中央付近の席は26℃である一方、窓付近の席はクーラーによる冷たい風が直接当たり続いているのにに対し、窓際の席はほぼ無風だ(図1参照)。

これだけ風当たりが違うと、教室内の温度にも差が出てくる。教室の中央付近の席は26℃である一方、窓際は30℃。約4℃もの差があつた(図2参照)。人間が快適に過ごせる室内温度は25℃～28℃だといふ。確かにこの環境では、同じ室内でも暑かつたり寒かつたりする人がてくること納得がいく。

そんな中あるクラスでは、先生から「クーラーの風があたつて寒い人は、制服の下に何か着たり、女子の場合羽織るなどして防寒対策をする。窓際の人は暑いかもしれないが、窓は開けずにクーラーが効くのを待とう」と言われて以来、それを実践している。また、人にヨットて快適な温度は違うの席を替わつてもらういう手段もある。自分のことばかりを考えず、他人を気遣うことだが、より良い環境づくりへの第一歩なのだろう。

もうすぐ梅雨も明け、本格的な夏がやって来る。その前に教室内の温度管理についてクラスで話し合つてみてはどうだろうか。

大濠高校生をバックアップする・・・ エフ・ユー・プロテクション

学生総合保険・自転車保険・その他各種保険取扱い

事故対応、その他保険商品内容についてお困りのことがあればお気軽にご相談ください。

福岡大学 バスターミナル内 保険相談コーナー

お問合せ……TEL 092-862-0019 福岡市城南区七隈八丁目19番1号福岡大学 バスターミナル内

福岡大学附属大濠高等学校同窓会

新殿堂に切磋琢磨して夢に輝け金字塔

毎年5月第3土曜日は「大濠人」が集う日

恩師に会いたい時、同級生や先輩・後輩に会いたい時
総会、懇親会に誘い合わせて参加してください。
詳しくは、新聞広告、ホームページに掲載します。

地域・職域支部もあります

関東、東海、関西、精屋、筑紫、久留米つづき会
福岡市役所鶴友会、福岡大学医学部
懇親会、母校クラブの応援等を開催します。

会長：川邊義隆 本部：福岡市中央区六本松1-12-1（旧中学棟一階）Tel:092-714-1681 HP:<http://www.ohsa.jp>

専門スタッフが
丁寧にアドバイス
致します!!

長期停止中の今は行われてない。その経済損失は、宿泊費と食事代だけで年34億円に上る。また、地元雇用がなくなるため、人件費が払われないことで納税額が減り行政サービスが減る。会社はお金が回らずストップし、生活費が窮屈し、生活の不安が増してしまう。

今は「明日の電気代がいくらかわからない」状況だ。原発停止分の電気をコストの高い火力発電で賄っている状況では、電気代の高騰は止まらない。この状況から抜け出すためにも、早期の再稼動が必要だ。原発がなければ、経済が成り立たない。研究が急がれる自然エネルギーも、その資金が無ければ

原発がなければ大変だ
いうこと自体、間違いだと
思つてゐる。現に、原発が止
まつてからも、真夏の電力の
電力消費が多い時期でさ
え、停電にはなつていない。
しかし、私たちの「節電は
遅れていると思う。世の中
を見回すとかなりの無駄遣
いがある。それは電気だけで

仲秋氏 生活から変えていく

アンケート結果の「どちらでもない」という生徒が30%いたことに注目した。これはニュースやネットで様々な情報が飛び交う中何が正しいのか何が間違っているのか判断できない状況に陥っているからではないだろうか。

か「安全」か
ば開発が出来ない。
「窓を開けたまま寝れま
すか」という問い合わせある。侵
入者を防ぐ警備システムも、
熱帯夜を乗り切るエアコン
も、全て電気で動いてる。
生活の不安を解決するのは
電気なのだ。しかし、それさ
えも不安視されているにも
関わらず、安易に原発を止

古賀氏 生活不安が「安全」か

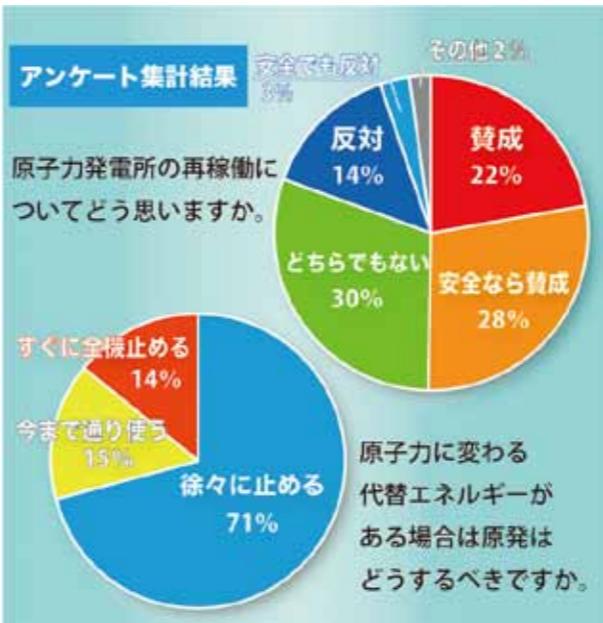
6月中旬、生徒約1700人で原子力発電についてのアンケートをとった。原子力発電所の再稼動について聞いたところ、「賛成」「安全なら賛成」と答えた生徒は全体の50%、「反対」「安全でも反対」と答えた生徒は17%、「どちらでもない」と答えた生徒が30%という結果になった。

2年前にとったアンケートでは、「賛成」と答えた生徒が、「反対」と答えた生徒の2倍いたが、今回のアンケートでは、賛成が反対の3倍に上った。2年前に比べ、原子力発電に反対の考える生徒が減少したことが分かった。

次に、「原子力発電に代わる代替エネルギーがある場合、原発はどうするべきか」と聞いたところ、「徐々に止める」と答えた生徒が71%

福島第一原子力発電所の事故から3年、今でも国内に48機ある原発の全てが運転を停止している。九州にある玄海・川内原発など、再稼働を申請している原発もあるが、その目処も立っていないのが現状だ。今回のエネルギー特集では、福岡から最も近い玄海原子力発電所を訪れまた、原子力発電所の再稼動に賛成、反対それぞれの考え方を持った2人に話を聞いた。(實済、吉武、高橋、江崎、白倉)

と最も多く、「今まで通り使う」と答えた生徒が



再稼動へ動く玄海原発

力発電所の再稼動には賛成する人が多い中、代わりになるエネルギーがあれば、原発を止めいく、と考える人が多いことが分かった。2年前と比較しても、原発に対する大濠生の考えは、大きく変化してない。

発電方法には加圧式型と沸騰水型の2種類がある。加圧式型は、原子炉の中で発生した熱水を蒸気発生器に送り、蒸気にしてタービンを回す。沸騰水型は、原子炉内で水を沸騰させ、発生した蒸気で、直接タービンを回す。

原子力発電の仕組み

す。沸騰水型の場合、建物全体が放射線管理区域となるが、加圧式型は、原子炉内ののみが管理区域となる。日本にある原発のうち、その割合は

東日本大震災以前は、有事の際、制御棒を燃料棒の間に入れることで核分裂を抑制し温度を下げることで安全対策を行っていた。また、制御棒を入れることができなかつた場合に備え、外部からポンプで水を入れ熱部を下げるなどの安全対策を行つていたという。

また、原子力発電の原子炉建屋は地面の上に立てるのではなく、岩盤の上に直

震災後、原子力発電所が運転停止を余儀なくされ、再稼働への「世界一厳しい安全基準」が策定された。その基準をどうクリアしていくのかが、電力会社には課題となつた。

九州電力は現在、外部電源のポンプを高台に移したり、重機を扱えるような従業員の育成や週2回の災害想定訓練を行うなどの新しい対策を行つている。さらに火災の対策として、燃えやすい発電所内の樹木を排し地面を固めるなどの対策を行つてゐるという。

取材時、玄海原子力発電所では、発電所内各所で再稼働に向けた免震重要棟や電源施設の増設など工事が行われていた。九州電力は再稼働へ向け、動きを加速させていくようと思えた。

大濠中・高の学生服 • ボタンダウン



臨濟宗東光寺 住職
仲秋 喜道さん

玄海町出身。第2次世界大戦中に学生時代を過ごす。終戦後は、30年間中学校で教鞭をとる。教師をする傍ら、1965年に玄海町が原発の立地候補地になった時から原発の反対運動を展開。住民会議を立ち上げた。



福岡のまつり ≪第1回≫ 山笠の裏側に迫る

先日、博多祇園山笠が行われた。1979年に国的重要無形文化財に、1996年には日本の音風景100選に選ばれた。7日間にすべてを懸けて走る博多の男たちの姿は、毎年テレビで中継され、興味を抱いている人も多いだろう。今回、60年間山笠に出ている鬼塚博道さん、山笠の人形師の亀田均さんに話を聞いた。

(龍木村、峯川路)

鬼塚博道さん伝統と革新

なぜ山笠にでているのですか。

母親に手を引かれ、山笠を見ていたときから、ずっと山を昇きたいと思つてしましました。それから60年以上参加しているうちに、山笠無しでは生きられなくなつてしまい

山笠の魅力とはどんなところですか。

ずばり伝統と革新です。

山笠で苦労していることはなんですか。

どで誰が見ているかわからないことがあります。山笠は様々な人が関わっており、下手なことが出来ないので自分を律しないといけない。そのことが結構大変です。ですが、それも人間として成長するために大事なこと

どううと思います。



今年山笠で使われる昇き山

亀田均さん 新しい物を

人形師になつた理由はなんですか。

小さい頃から物を作ることが大好きでした。それで、たまたま山笠を見た時、山

に一目惚れをしました。それで、人形師にならうと決意しました。

山笠は疫病退散、健康祈

で作つていいであります。そのためにも自分自身の健康管理に最も気を使つています。

人形を作れる上でのこだわりは何ですか。

他の人と違う物を作りたい、という気持ちで人形を作っています。古い材料で作ることは簡単だし、誰でもできますが、それでは面白くありません。だから、常に新しい技術、材料を求め、日々研究を重ねています。

博多を代表する祭り「山笠」

山笠とは26人の昇き手達が総重量約1tある山を背負い、数kmもの道のりを駆け抜ける祭りだ。祇園山笠振興会では、夏たびたび戦火に遭い、資料が失われたため、正確には分かつてない。博多時代に当時の県知事が、「半裸の男が町を走るとはどういうことか」と言う理由で中止されそうになりました。そこで、「水法被」と呼ばれる服を着るようになり、今ではそれも山笠の見どころの1つになりました。



亀田均さん

美術工芸品調製専門店

A 足立商会 有限会社

代表取締役 足立 隆 (19回卒)
福岡市博多区上呉服町13番32-1
〒812-0036 TEL・FAX(092)283-2855

教材・教具販売

有限会社 福岡統正社

代表取締役 伏見史郎

福岡市博多区千代2丁目5番8号 TEL: 092-651-1587



熱く語り合う部員たち

歴史文化部は高校3年生5名、2年生5名の計10名で活動している。活動場所は、部室棟3階。1年生部員をぜひとも確保したいと。現在は文化祭での発表に向け「オランダと日本」という部全体のテーマに取り組むと共に、各々の部員が関

歴史文化部は創部当初「考古学部」という名前で、古代の歴史についてのみ調べる部活動であった。しかし当時、部員が不足していたため、現顧問である筒井先生が「歴史文化部に名前を変更する」と、時代のどんな文化であつても調べること

ができる、部員が増え

心がある」とについての研究や、坂本龍馬などのオブジェ制作を行っている。文化祭が終わり次第、コンテストへの応募、課題図書の感想文の作成、研究のための小旅行など様々な活動を計画中だ。以前は、壱岐や下関を訪れ、その地の歴史や文化に触れ、有意義な研究を行った。

歴史文化部は現在、高校2年生6名、1年生1名の計7名で活動を行っている。活動場所は本校舎1階の書道教室。主な活動は、文化祭の展示へ向けての作品を一人2、3枚作成することと、彫刻刀を使い、篆刻の製作を行うことである。また、生徒会の依頼で、会の題字を書いて今は、テレビ局に依頼され、剣道の玉龍旗の題字を作成中だという。書道部はどのような部活であるのか部長の小田和弥

君(2年)に尋ねてみると、「書道部と聞くと、一見堅苦しいイメージがあるかも知れませんが、そんなことはありません。部員同士の仲も良く、和気あいあいと活動を行っています。しかし字

足して、部員が増え

ることで世界中、どの

時代のどんな文化で

あつても調べること

ができる、部員が増え

ることで、部員が増え

変わる、体育祭

歴代ナンバーワンを目指して

6月7日、大濠中・高合同体育祭が行われた。今年は例年よりも早く準備が始まり、昨年度を上回る競技数をこなした。

昨年まで、中学校関連の仕事は先生が中心で行っていた。しかし今年は「生徒主体」が強く呼ばれ、その仕事が期間限定で役員を増員した中学生徒会に委ねられた。



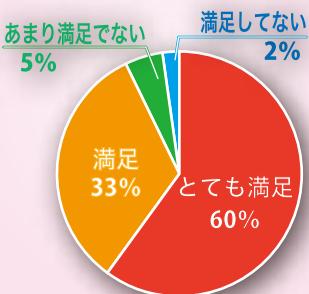
個性的なパフォーマンスで魅せた

高校生徒会の協力の元、中学校の運営を統率した。今年初となる高校・中学生徒会、放送部合同の会議を複数回行い、運営の結束を強め、情報の共有を図った。

プロジェクトも例年以上に活性化した。日々計画表を各クラスに配布するなど新たな取り組みも行われた。

応援合戦では、どのプロジェクトも個性的なパフォーマンスを行った。昨年度に引き続き、ペナルを利用したモザイクアートや全体応援など新たな挑戦が行われ、盛り上

アンケート: 今年の体育祭は満足できましたか。



満足度の割越える

がりを見せた。

新聞部が生徒に行つたアンケートでは、「満足できた」と答えた生徒が9割を超えた。一方、反省点も多く出た。中でも多かったのが「自己満足になつていい」という意見だ。多くの観客が「素

さらなる頂きへ

晴らしかつた「感動した」ではなく「とても楽しそうだった」と述べたが、観客を巻き込む事は果たして出来ていたのだろうか。

また、行事の成功が時間通りに終わる事だとすれば、予定時間を1時間オーバーしたことは大いに反省すべき事である。

完全共学になり、変革期真っ只中に立たされた今、

編集後記

新たに部員を10人迎え、新聞部は今まで以上に活気を帶びています。

部員が総勢23人となり、福岡県下の新聞部では最も人数が多く、大所帯となりました。

部員全員をまとめるのも一苦労です▼今号は、3年生が引退し、1年生が入部して最初の発行となります。

号の記事を決める編集会議では、どんな記事を書けば、読者の皆さんに興味を持つもらえるか、議論を

重ねました▼大人には書けない高校生目線の記事を書きつつ、公正中立な情報を信をする、というメディア本

來の使命を果たす新聞をつくる。会議を通して、新聞

をつくることは、本当に難しいことなのだと痛感しました▼世代交代して、

新たな連載記事も増えました。しかし、新聞に懸ける思

いは、数十年前の先輩から変わりません▼まだまだ未

熟ですが、部員一同、読者の皆さんに楽しんでもらえる新聞づくりにまい進しています。

(吉武)

今年の秋も体育祭に続
き、大濠が活気に包まれる。ただし、昨年とは違
い、今年の文化祭の一般
公開は2日目だけであ
る、と耳にした人も多い
だろう。9月13日が校
内、14日が一般公開日
と決まった。

その理由を生徒会指導
主任の坂口先生に聞いた
ところ、「昨年の文化祭
は、不審者と思われる人
が見えた」。

の対策に追われたので、
今年は生徒の安全を優
先することを重視した。

「今年も生徒ホールに壁
画を展示し、中央ステー
ジでの新企画を予定して
いる。文化祭のテーマは、
自分自身のテーマでもあ
る。行動を起こして、体
育祭に負けないくらい盛
り上げていきたい」と文
化祭の展望を語った。

文化祭 一般公開1日に

今年の文化祭のテーマ

期待したい。
(川津)

が、練習の都合上難しいのが今の現状である。中高一体となり2500人規模で体育祭を行う学校は全国でも少ない。中高合同で体育祭を行なう事が多いが、男子校の伝統を、どのようにして共学に引き継いでいくのかが重要になる。男子校の伝統に執着して、縛られてしまつては、なにも変えがでかない。

中高別日程で体育祭を行なう事で、大人には書けない高校生目線の記事を書きつつ、公正中立な情報を信をする、というメディア本來の使命を果たす新聞をつくる。会議を通して、新聞をつくることは、本当に難しいことなのだと痛感しました▼世代交代して、新たな連載記事も増えました。しかし、新聞に懸ける思いは、数十年前の先輩から変わりません▼まだまだ未熟ですが、部員一同、読者の皆さんに楽しんでもらえる新聞づくりにまい進しています。